

沼上 賢次 議員

選挙事務の見直しを

検討すべき

問 期日前投票時の宣誓書を事前配布し、一人でも多くの人が気兼ねなく投票できる、利用しやすい制度への改善はできないか。

答 期日前投票をより利用しやすく、投票率の向上を図るといふ観点から、次期選挙において実施に向けて検討していきたい。

問 開票作業の迅速化のためには、徹底的に無駄を省くことや自動読み取り機の増設が必要と考えるがどうか。

答 開票時間の短縮は、疑問票の判定に対する効率的な処理方法の検討や、開票事務の一念な事前準備などが重要である。自動読み取り分類機の増設についても検討し、開票作業の一層の迅速化と負担軽減に努めていきたい。



開票に使用する自動読み取り分類機

聴覚障害者が安心できる 生活の確立を

問 音や声を取り戻した人工内耳装用者は、喜びの反面、機器利用に伴う高額な経費が負担となる。助成の実施はできないか。

答 人工内耳装用者にとって、その維持に要する費用が、大きな経済的負担となっているため、県に対し、助成対象項目の追加を要望していきたい。

竹原 和義 議員

津波火災への対策は

問 浅羽南地域の津波避難対象区域には、消防法で定める危険物が2934キロリットル貯蔵されている。津波火災の危険性の対策はどうか。

答 危険物施設の実態調査は、既に実施済みであるが、今後、国の提言に沿った中で、適切に対応できるよう努めていきたい。



浜岡原発における リスクの残余は

問 浜岡原発の使用済み燃料は、トータルで9025体が存在する。そのリスクについてどう考えるか。

答 重大なリスクがあると認識している。今後も国・県、中部電力などの動向も注視し、必要な対策が講じられるように働きかけていきたい。

給食の放射性セシウム量を 公表しては

問 給食まるごとミキサー検査で、放射性セシウム量を測定し、その結果をホームページに公表してはどうか。

答 検査体制を整えて、年内には専門機関に委託する方法で、市独自で食材の放射線量の測定を行い、その結果を公表できるように努めていきたい。



ベクレル表示放射線検知器